

両川中学校区 地域カルテ

江南区

H30年8月更新

I.地域の基礎データ

1.中学校区の概要

両川中学校区は、信濃川と阿賀野川を結ぶ小阿賀野川の合流点に位置し、江戸時代から明治時代にかけての河川交通における船着き場の川湊として繁栄し、経済・文化の中心として発展してきました。

自然にも恵まれており、米や梨、鮭等を代表とする食の生産地でもあります。

また、地区内には、国道403号線や県道1号新潟・小須戸・三条線が通るほか、新潟中央環状道路の整備も進められており、他地区へのアクセスも良好となっています。

地域の伝承芸能である「太々神楽（だいだいかぐら）」が明治初期に伝習され、酒屋神社の春秋のお祭りで披露されているほか、毎年9月には、商店街の活性化と人々の交流を目的に「ゆめ祭り酒屋」が開催されるなど、文化芸能と地域振興が盛んな地域です。

コミュニティ協議会※

両川地区コミュニティ協議会

小学校

両川小学校

※中学校区の区域とコミュニティ協議会の区域は必ずしも一致しない。

位置図



両川中学校区

Ⅱ.人口

1.人口・世帯数(住民基本台帳)

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	(人)		世帯数	1世帯当たり 世帯人員
						65歳以上	うち75歳以上		
2011年	3,488	1,713	1,775	339	2,083	1,066	601	1,131	3.08
		49.1%	50.9%	9.7%	59.7%	30.6%	17.2%		
2016年	3,230	1,580	1,650	294	1,781	1,155	605	1,160	2.78
		48.9%	51.1%	9.1%	55.1%	35.8%	18.7%		
増減	-258	-133	-125	-45	-302	89	4	29	-0.30
	-7.4%	-7.8%	-7.0%	-13.3%	-14.5%	8.3%	0.7%		

2.人口推計

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上
2021年	2,952	1,441	1,510	264	1,538	1,149	607
		48.8%	51.2%	8.9%	52.1%	38.9%	20.6%
2026年	2,667	1,301	1,367	218	1,357	1,092	661
		48.8%	51.2%	8.2%	50.9%	40.9%	24.8%
2031年	2,388	1,161	1,227	176	1,209	1,003	645
		48.6%	51.4%	7.4%	50.7%	42.0%	27.0%
2036年	2,116	1,026	1,089	150	1,040	926	595
		48.5%	51.5%	7.1%	49.2%	43.8%	28.1%
2016-2036 増減	-1,114	-554	-561	-144	-741	-229	-10
	-34.5%	-35.0%	-34.0%	-49.0%	-41.6%	-19.9%	-1.7%

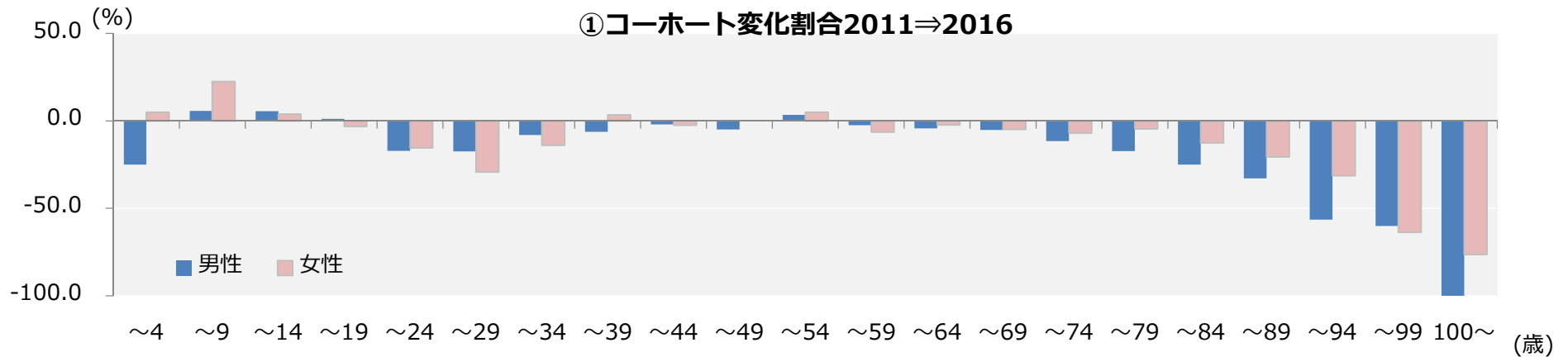
○人口は、2016年の3,230人から2036年には2,116人と**34.5%**減少する。

○老年人口は、2016年の1,155人をピークに、その後減少していくが、老年人口割合は35.8%から2036年には43.8%に増加する。

○年少人口は、2016年の294人から2036年には150人となり、**49.0%**減少する。

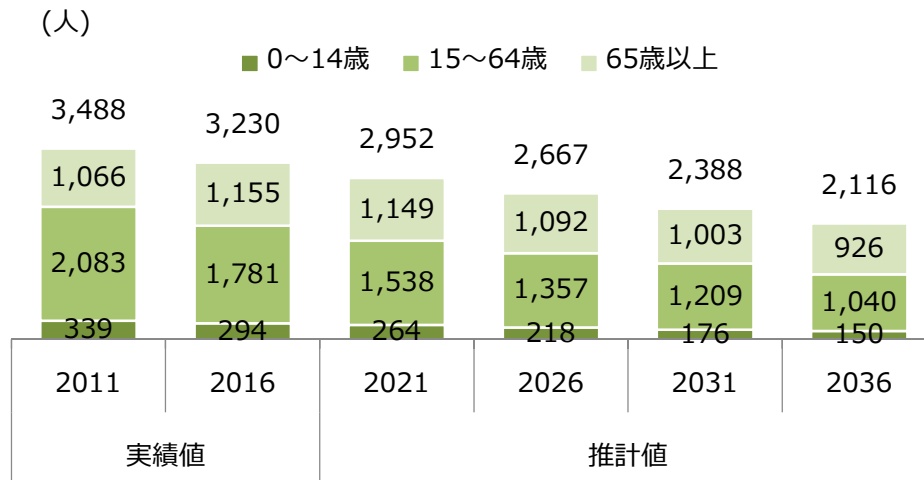
○生産年齢人口は、2016年の1,781人から2036年には1,040人となり、**41.6%**減少する。

3.人口推計グラフ

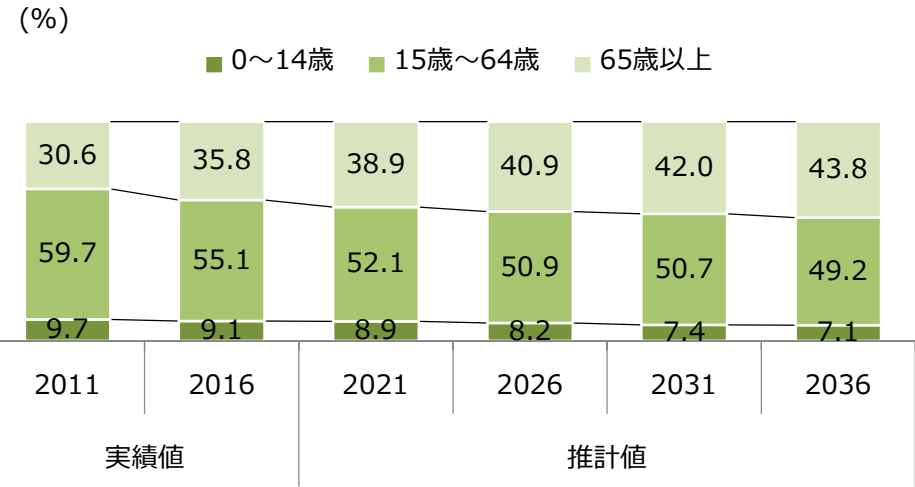


- 就職に至る20~24歳の年代だけでなく、25~29歳の年代においても男女ともに変化割合が1割以上のマイナスとなっている。
- 5~9歳の年代で女性の変化割合が大きくプラスとなっているほか、10~14歳、50~54歳においても男女ともにプラスとなっている。

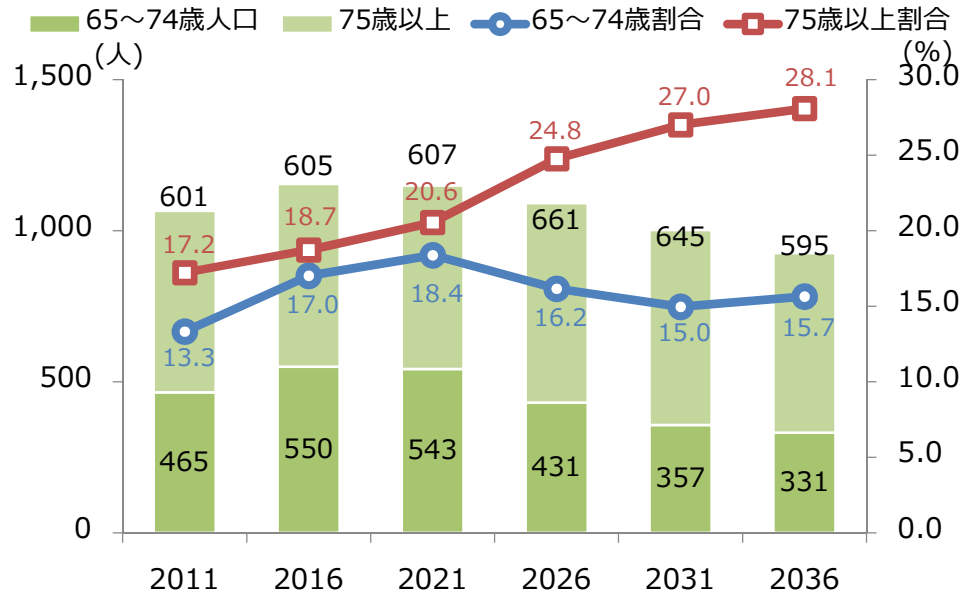
② 年齢3区分別人口推移



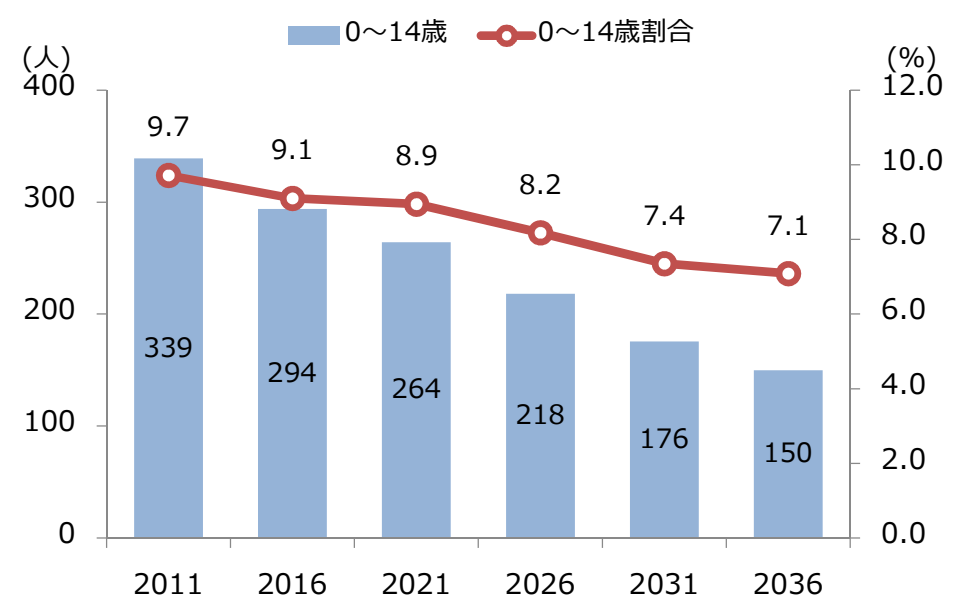
③ 年齢3区分別人口割合の推移



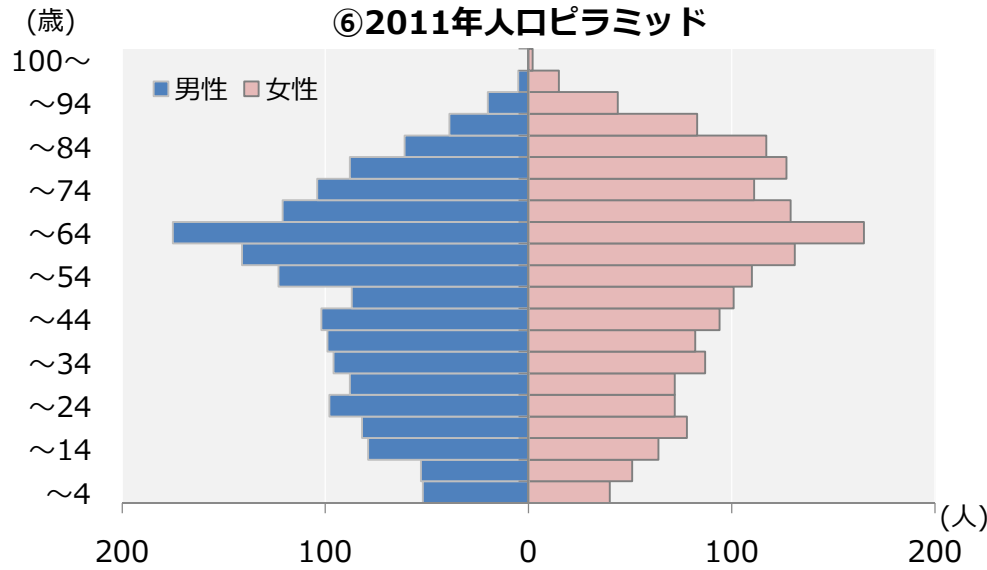
④ 高齢者人口の推移



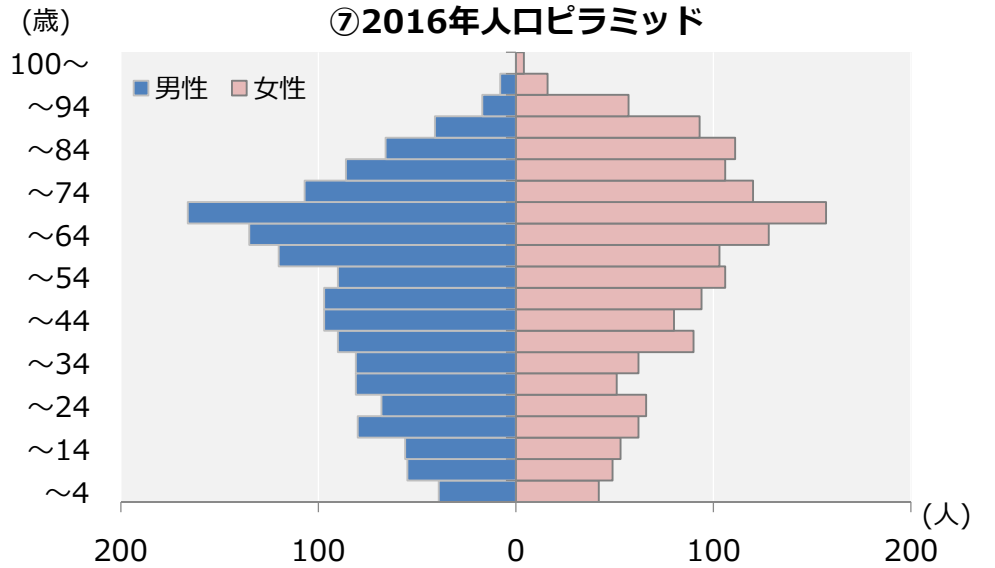
⑤ 年少人口の推移



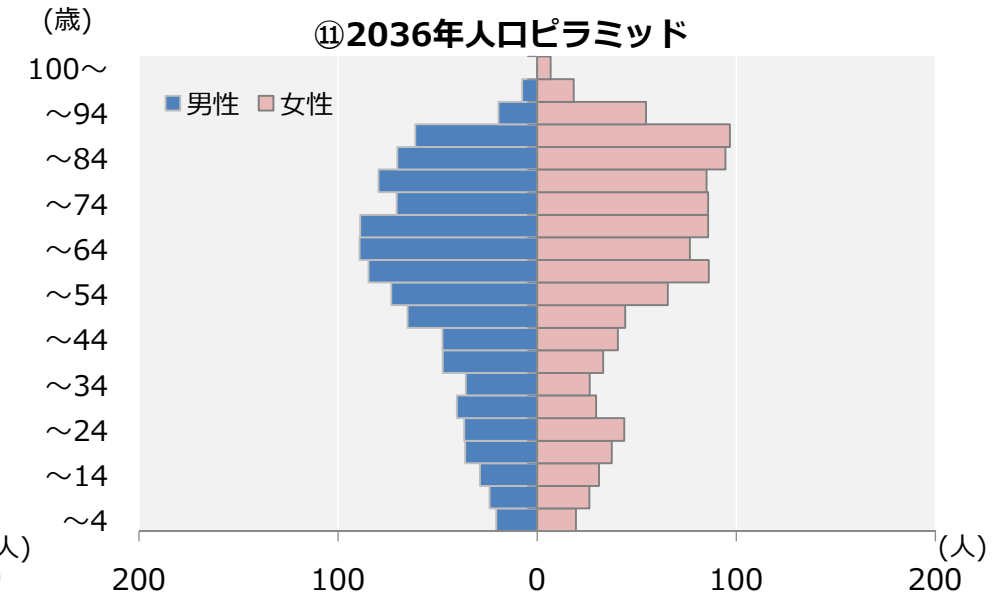
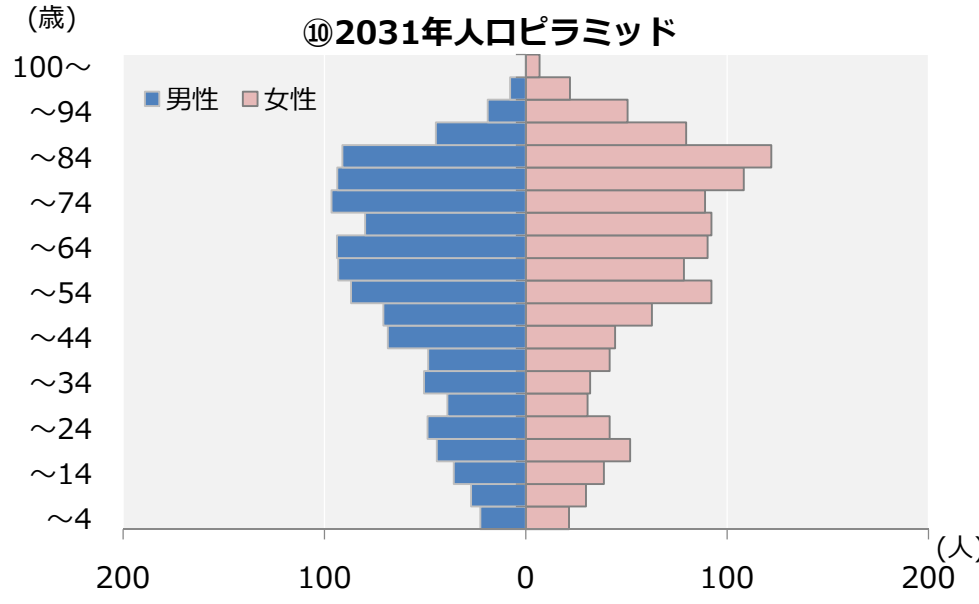
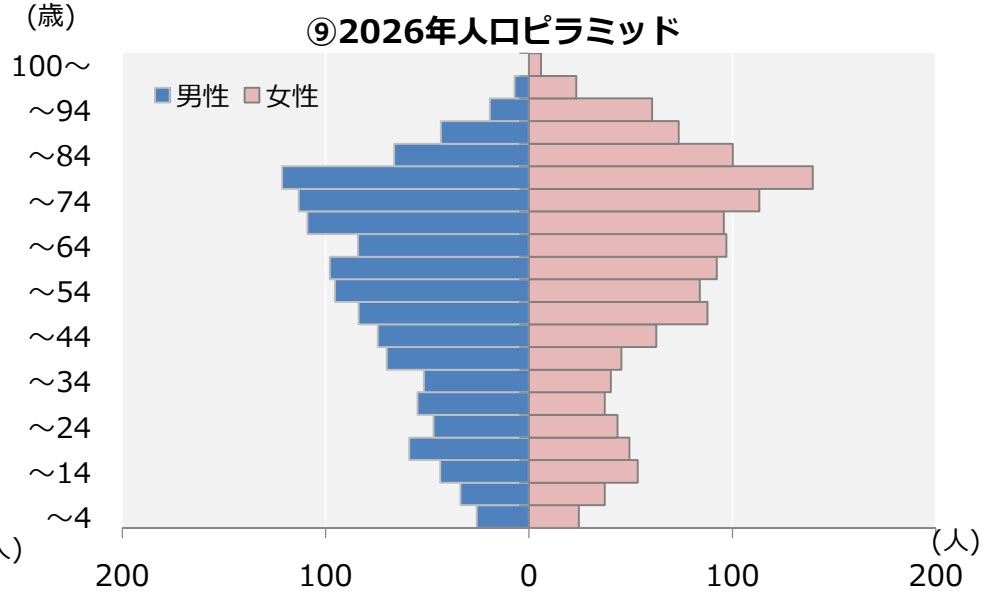
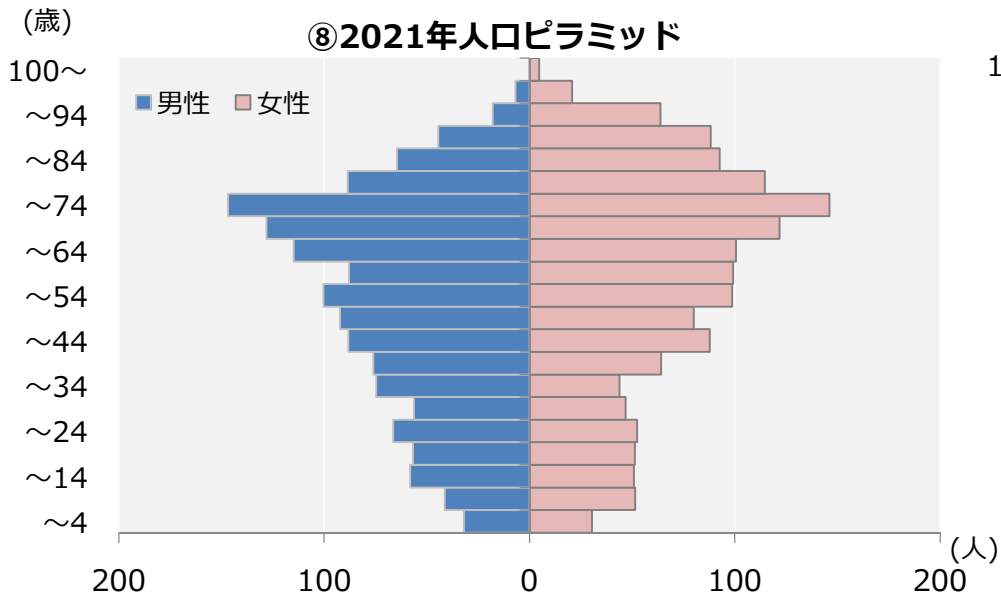
⑥ 2011年人口ピラミッド



⑦ 2016年人口ピラミッド

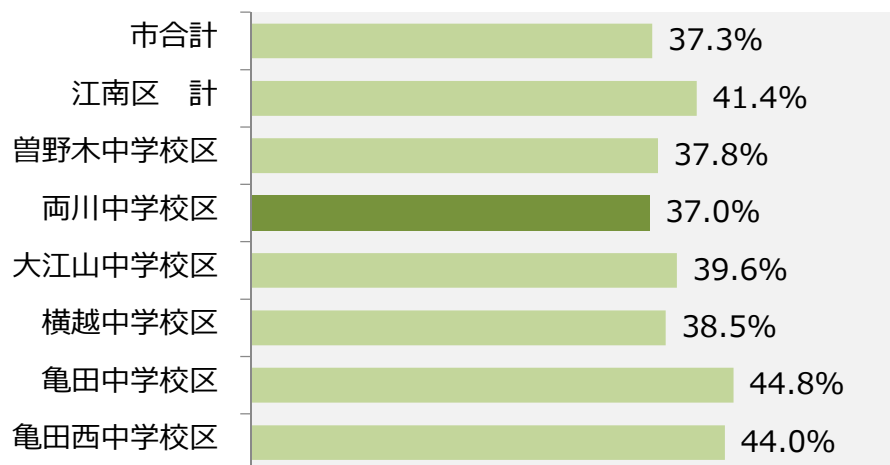


両川中学校区

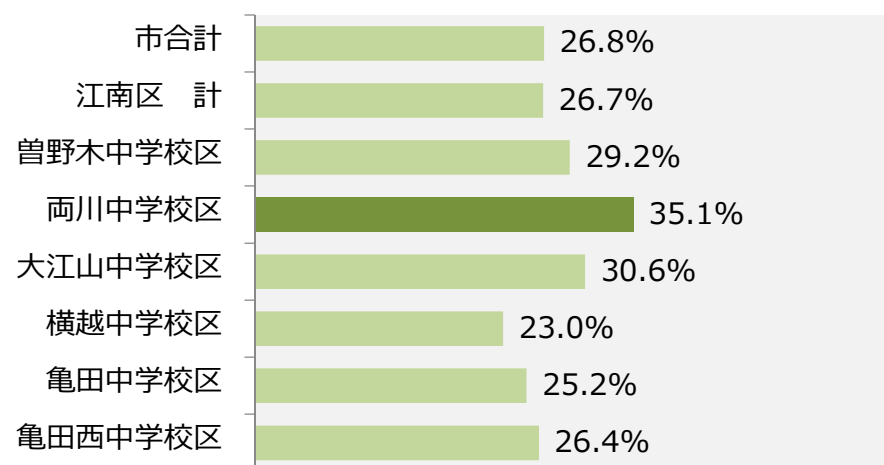


Ⅲ.健康データ（平成27年度新潟市国民健康保険・新潟県後期高齢者医療保険・協会けんぽ健診データ）

①健診受診率

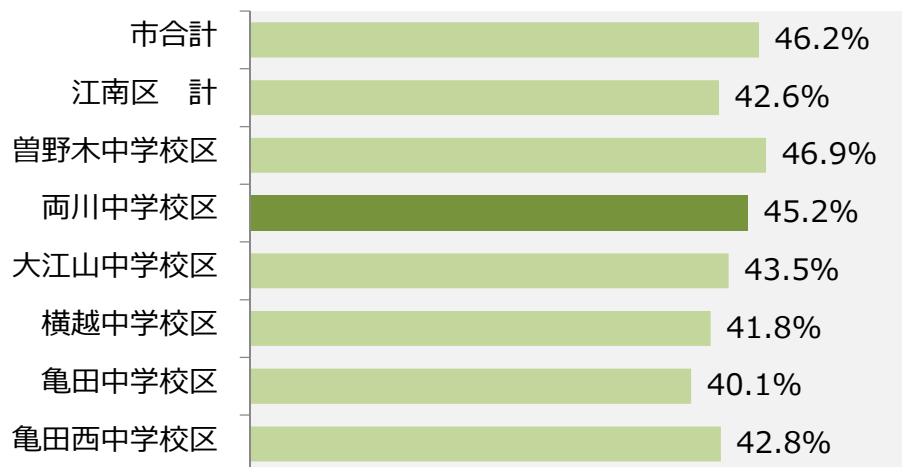


②高齢化率

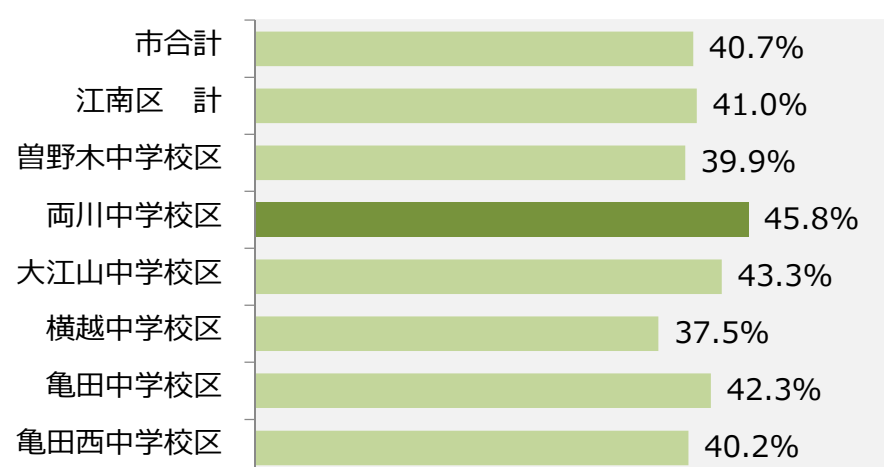


※平成27年9月末時点の住民基本台帳人口を基に算出

③血糖



④血圧（収縮期130mmHg以上）



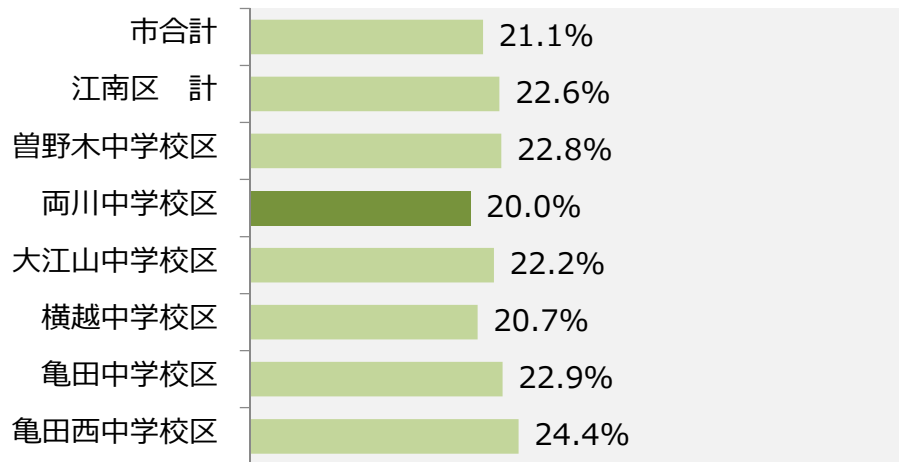
※国民健康保険・後期高齢者医療保険：HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)5.6%以上
協会けんぽ：空腹時血糖100mg/dl以上

■HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）

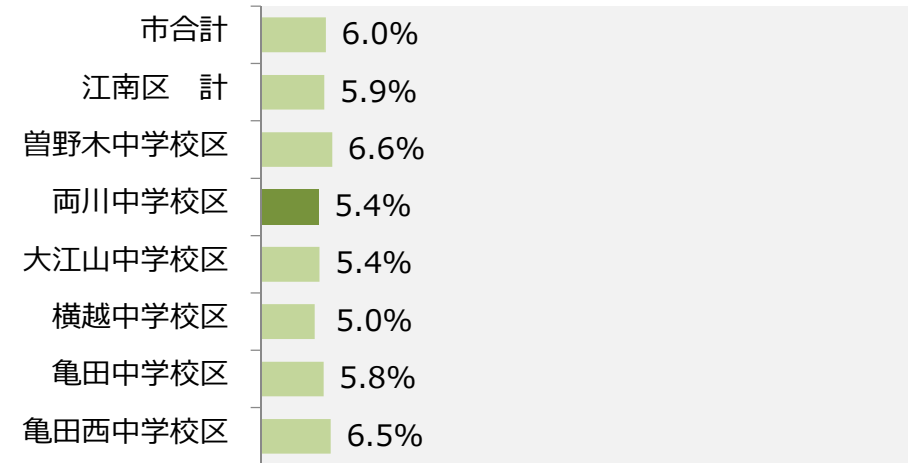
過去1~2か月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われている。

両川中学校区

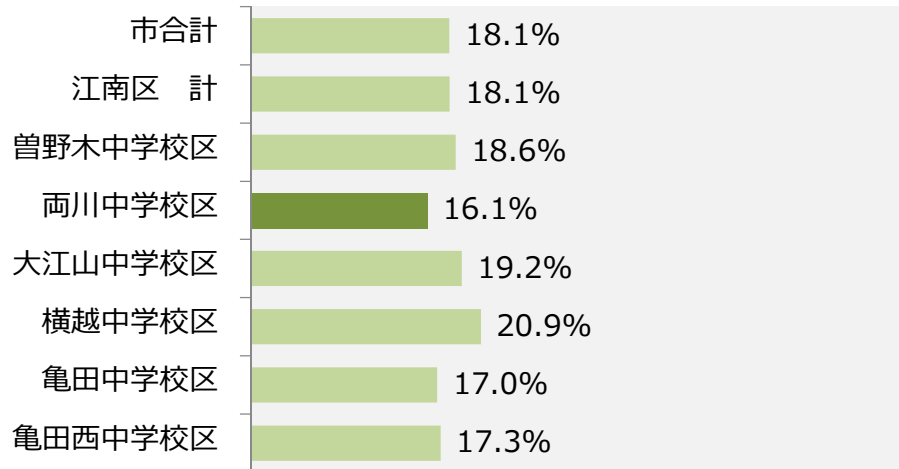
⑤脂質（中性脂肪150mg/dl以上）



⑥3項目(血糖・血圧・脂質)重複該当

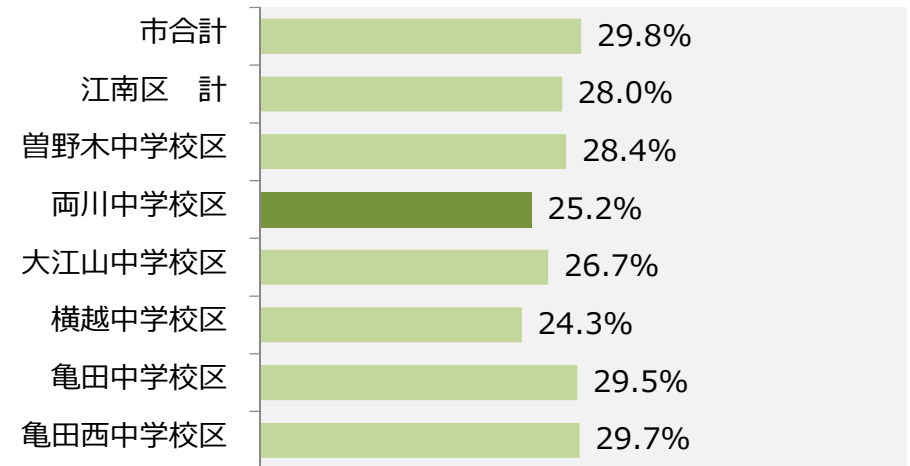


⑦喫煙



※現在、たばこを習慣的に吸っていると回答した人の割合

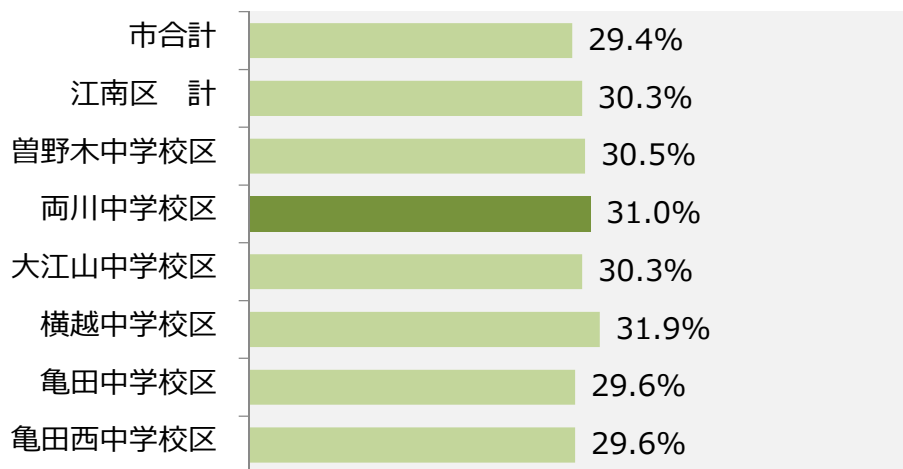
⑧運動習慣



※1日30分以上軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していると回答した人の割合

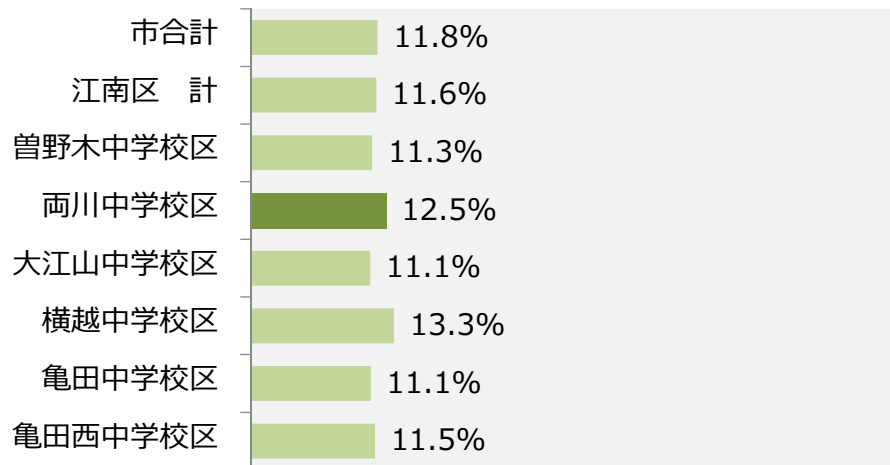
両川中学校区

⑨ 飲酒頻度（毎日）



※お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度は【毎日】と回答した人の割合

⑩ 食習慣（夕食後の間食）



※夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上あると回答した人の割合

⑪ 患者予備群、治療放置群等（国保・後期高齢）

	健診 対象者数 (国保+ 後期) 人数	未把握		未通院 患者予備群 治療放置群	
		人数	構成割合	人数	構成割合
曾野木中学校区	3,971	1,266	31.9%	153	3.9%
両川中学校区	1,451	402	27.7%	61	4.2%
大江山中学校区	2,496	749	30.0%	98	3.9%
横越中学校区	3,519	1,116	31.7%	125	3.6%
亀田中学校区	6,502	1,857	28.6%	273	4.2%
亀田西中学校区	4,719	1,405	29.8%	228	4.8%
江南区 計	22,658	6,795	30.0%	938	4.1%

※平成27年度の国保+後期高齢の健診対象者（40歳以上）の状況

未把握・・・健診未受診及び生活習慣病の受診がない

未通院・・・健診において下記項目のいずれかに該当し、医療機関で

診察又は治療の必要があるが、同年中に生活習慣病の受診がない

・血糖：126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上

・血圧：140又は90mmHg以上 ・中性脂肪：300mg/dl以上

・LDLコレステロール：140mg/dl以上 ・HDLコレステロール：35mg/dl未満

■ LDLコレステロール

全身の組織へコレステロールを運ぶ働きをしているが、多すぎると動脈硬化をすすめるため、悪玉コレステロールとも言われる。

■ HDLコレステロール

善玉コレステロールともいわれ、血管壁に沈着したコレステロールを取り除き肝臓に戻す働きがあり、少ないと動脈硬化をすすめるが、多すぎても問題があるといわれている。

IV.施設データ

1.施設一覧

施設分類	施設名	施設基本情報				避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3
		複合施設 ※2	建築年		使用面積 (㎡)		コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)			
コミュニティ施設	両川公民館	A	H3		423.94		687.0	円/人/回	(928.0)	10.6	%	(26.3)	2
社会教育施設	両川地区図書室	A	H3		18.88		410.0	円/冊	(508.0)	0.7	倍	(1.9)	2
学校教育系施設	両川小学校	B	H22	～ H22	4,134.76	○	101.2	万円/人/年	(81.3)	31.6	㎡/人	(24.1)	4
学校教育系施設	両川中学校		S58	～ H5	4,290.45	○	215.3	万円/人/年	(88.5)	69.2	㎡/人	(28.5)	4
子育て支援施設	両川保育園		S43	～ S56	498.49		150.3	万円/人/年	(106.4)	10.2	㎡/園児数	(8.6)	4
子育て支援施設	両川ひまわりクラブ	B	H22	～ H22	137.33	○	18.9	万円/人/年	(13.9)	3.7	㎡/児童数	(2.7)	4
高齢者福祉施設	老人憩の家両川荘		S63		231.86		1,222.0	円/人/回	(806.6)	6.4	人/100㎡/日	(12.7)	4
庁舎系施設	両川連絡所	A	H3		437.46		-	-	-	-	-	-	-

※1 原則、平成28年度財産白書（平成27年度決算ベース）から引用

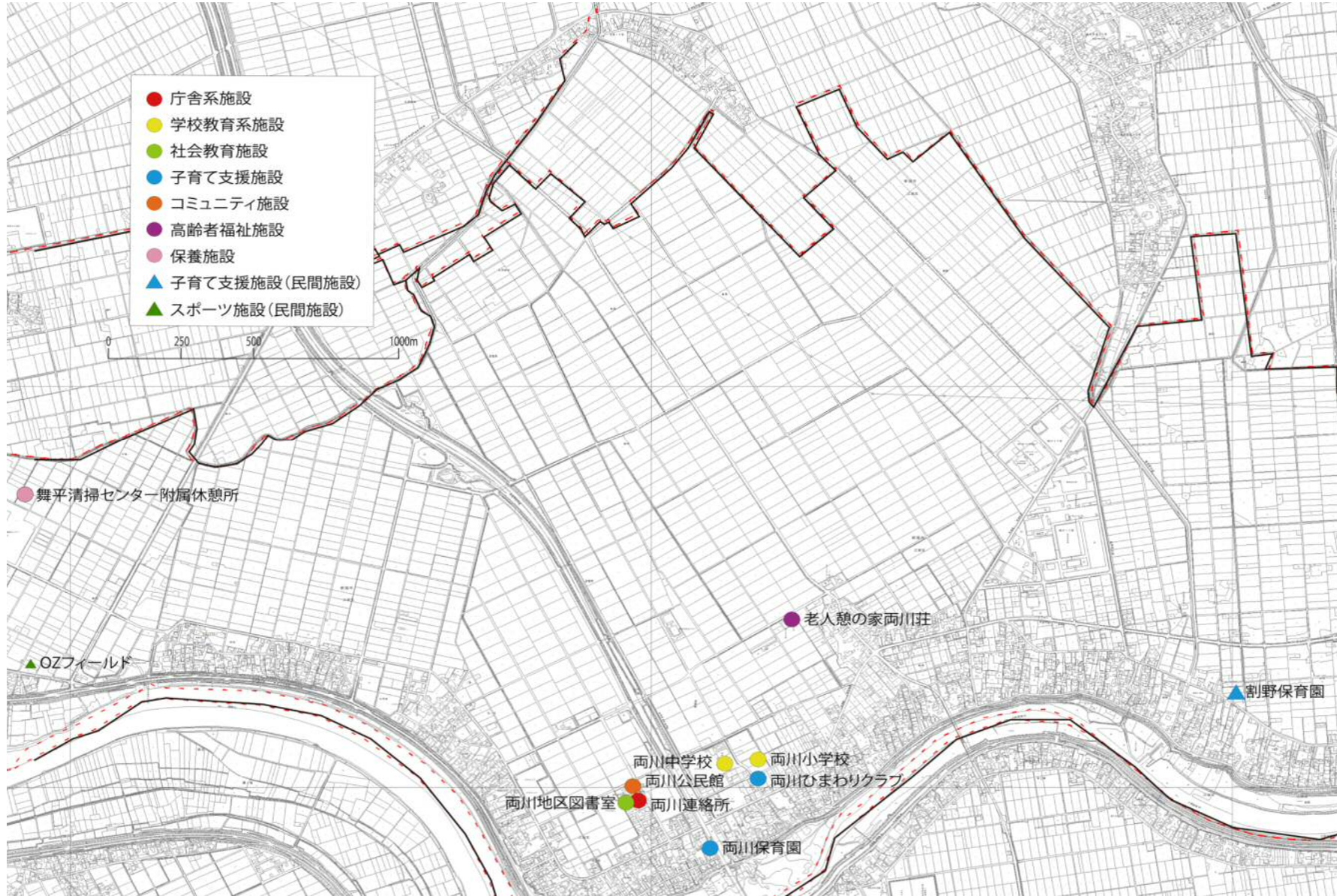
※2 アルファベットが同じものは複合施設

※3 分析領域の番号は下記項目のとおり

- 1.コスト状況、利用状況ともに相対的に良好な施設
- 3.相対的にコストが高いものの、利用が多い施設

- 2.相対的にコストは安いものの、利用が少ない施設
- 4.相対的に高コストかつ、利用が少ない施設

2.施設位置図



※校区の線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。

※「舞平清掃センター附属休憩所」は財産白書対象外施設であるため一覧には未掲載。

両川中学校区